

5 ご使用のしかた

① 冷却開始

コンセントを差し込んでください。その後、「運転」ボタンを押してください。保冷庫の運転が始まります。
夏場、保冷庫のある部屋に換気扇がある場合は、同時に運転させてください。(保冷庫の周辺に熱がこもらずに効率よく運転できます。)
※圧縮機保護のため、3分間運転しない場合もあります。
※運転がOFFの場合、温度表示は「_」になります。
※箱取運転中は「dF」表示をし、圧縮機と庫外ファンが停止状態となります。

② 玄米・野菜モード切換

通常、玄米を保存の場合は「玄米・自動」の設定に、野菜を保存の場合は「野菜・自動」の設定にすると、それぞれにほぼ適した温度になります。(野菜モードでは、圧縮機停止時も冷却ファンは連続回転します。玄米モードでは、圧縮機停止時、停止2回のうち1回は、最大で約30分間冷却ファンは回転します。)

③ 庫内温度設定

「玄米・手動」「野菜・手動」の場合、庫内温度はお好みの温度に設定できます。(0℃～15℃の範囲)

④ 玄米を保存

- 玄米を保存する場合は、新しい紙袋で保存してください。紙袋に古いものを用いると、たとえ低温でもカビが発生したり、固まったりすることがあります。また、袋に入らずに裸で保存すると乾燥します。
 - 庫内に保存した玄米を精米する場合は、温度の低い時間に玄米を庫外に出し、中の玄米が外気温度と同じになってから精米してください。冷えた玄米を外気にさらすと、表面に露が付き(結露)玄米の表面が白く割れ割れを起こすことがあります。紙袋の口は絶対に開けないでください。(1日以上経過後開けて精米してください。)
 - 水分の多い作物や香りを発生する作物を保存する場合には、必ず密閉容器に入れてください。
 - 庫内の壁に密着して物を入れないでください。冷気が循環できず、冷えない場所ができてしまいます。又、壁に密着しているところは湿ります。
- 【ご注意】
(1)長期間ご使用にならない場合は、運転スイッチを切り、コンセントを抜いてください。
(2)冬場は、外気温の影響により、庫内が設定温度以下になる場合があります。
(3)野菜など乾燥をきらう品物、および臭いの発生する品物は、密閉容器に入れて保存し、乾燥および臭いの移りを防止してください。
(4)保冷品は、庫内が適温になってから入れてください。

コントロールの機能

◇ 庫内温度を表示

通常は庫内温度を表示しています。
ただし、①のスイッチを押した時、高温度表示で設定温度を表示します。(5秒後に庫内温度表示に自動的に戻ります。)
なお、運転中は「dF」の表示をします。

◇ 自動運転

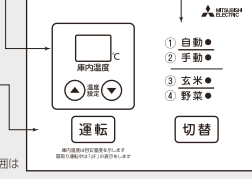
モード切替スイッチを押して、自動・野菜または自動・玄米のどちらかの設定にしますと、野菜または玄米に合わせた温度および湿度(自動設定)ができます。
自動・野菜：庫内温度 5～8℃
自動・玄米：庫内温度 10～13℃
(①と②、または①と④のランプが点灯します。)

◇ 運転スイッチ

●押すと、前回の設定モードで5分後に運転します。①、②のいずれかのランプと、③、④のいずれかのランプが設定に応じて点灯します。
●再び押すと、現在の運転モードを記憶した状態で運転が停止します。

モード切替スイッチを押して「手動・玄米」「手動・野菜」に設定しますと、温度設定ができます。

●温度設定範囲
冷却クーリングユニットの温度設定範囲は0℃～15℃です。
(高温度表示は「モード」ボタン表示、ON時はOFF時+3℃となります。)



操作方法

「運転」ボタンを押すと、自動的に「手動・玄米」モードになります。

No.	操作モード	操作手順	ランプ表示
1	電源投入	電源投入(プラグ差し込み)	全消灯
2	玄米自動運転	運転スイッチを押す	自動点灯 (保冷庫内温度を表示)
3	野菜自動運転	運転スイッチを押す	自動点灯 (保冷庫内温度を表示)
4	手動モードでの運転操作	運転スイッチを押す ①または②のスイッチで温度表示 ③または④のスイッチで湿度表示	手動点灯 (庫内温度表示が設定されている場合) 手動点灯 (湿度表示が設定されている場合)
5	手動モードでの運転操作	運転スイッチを押す ③または④のスイッチで温度表示 ①または②のスイッチで湿度表示	手動点灯 (庫内温度表示が設定されている場合) 手動点灯 (湿度表示が設定されている場合)

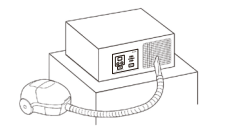
7 お手入れのしかた

●安全のため、お手入れの前に必ず「運転/停止」ボタンにて、ユニットの運転を停止させた後、電源をお切りください。

●冷却クーリングユニットには、絶対に水をかけないでください。故障(特に漏電)の原因となります。

●シンナー・ベンジン・ミガキ粉などは、製品を傷めますので使わないでください。

●長期間ご使用になりますと、フィルターにゴミが付着して冷気が悪くなります。月に1回程度、フィルターを取り出し丸洗いするか、またはブラシや電気掃除機などでフィルターをきれいに掃除してください。



8 仕様

項目	形名 AFH-Q3RG-DC17	形名 AFH-Q3A-DC17
電源	単相100V 50/60Hz	三相200V 50/60Hz
圧縮機呼称出力(W)	250	140
外形寸法(mm) 高さ×幅×奥行	290×641×484	290×641×484
製品質量(kg)	28	28

6 アフターサービスをお申しつけの前に

◎アフターサービスをお申しつけの前に、次のことをお調べください。

- まったく運転しない**
運転スイッチが切れていませんか?
電源スイッチがONになっていませんか。温度表示がONの状態です。
【処置】 もう一度入れ直してください。
- 停電していませんか?**
部屋の電灯はつきますか?
【処置】 停電が復帰すると、自動的に運転します。
- ブレーカーが切れていませんか?**
ブレーカーが作動していませんか。
【処置】 作動している場合は、原因を取り除いて再度ブレーカーを入れてください。
- 電圧が異常に低くありませんか?**
電源コードの延長配線やタコ足配線をしていませんか。
【処置】 放熱器を清掃した後、ドライバーなどで高圧圧力開閉器リセット部のボタン(赤色)を押して「復帰」させてください。※作動後はボタンが沈み込んでいる場合があります。
- 放熱器が作動していませんか?**
放熱器にゴミが付着していませんか。
【処置】 放熱器を清掃した後、ドライバーなどで高圧圧力開閉器リセット部のボタン(赤色)を押して「復帰」させてください。※作動後はボタンが沈み込んでいる場合があります。
- 庫内温度設定値が高くなっていませんか?**
【処置】 設定値を見直してください。(0～15℃の範囲にしてください。)
- よく冷えない**
扉は確実に閉まっていますか?
異物などが挟まっていますか。
【処置】 扉をしっかり閉めてください。
- 冷気の吸込口および吹出口がふさいでいませんか?**
【処置】 障害物を取り除いてください。
- フィルターは汚れていませんか?**
フィルターにゴミなどが付着していませんか。
【処置】 放熱器を清掃してください。(「7 お手入れのしかた」をお読みください。)

- 庫内に高温の物を入れていますか?**
お湯、お茶などが高温状態で入っていませんか。
【処置】 熱いものは冷ましてから入れてください。
- 風通しは悪くないですか?**
放熱器の吸込口や吹出口が商品などでふさがっていませんか。
【処置】 障害物を取り除いてください。
- 放熱器の周囲温度は高くないですか?**
放熱器の周囲温度が40℃以上になっていませんか。
【処置】 換気などを行い、周囲温度を下げてください。
- 放熱器の近くに発熱物はありませんか?**
【処置】 発熱物を取り除いてください。
- 扉の開閉は多くありませんか?**
【処置】 保冷品の出し入れは回数を少なく、短時間に行ってください。扉を開けたままにしておくと、暖かい空気が庫内に入り、冷気が悪くなります。

- 冷えすぎる**
外気温度が庫内温度設定値以下に低下していませんか?
庫内温度は、外気温度まで低下することがあります。故障ではありません。
- 保冷庫の外に露がつく**
扉は確実に閉まっていますか?
異物などが挟まっていますか。
【処置】 異物などが挟まっている場合は、異物を取り除き、扉をしっかり閉めてください。
- 保冷庫の周囲の風通しが悪く、湿気が高くなりませんか?**
【処置】 故障ではありませんが、換気などを行い、通気をよくし、周囲温度を下げてください。
- 温度表示部に「dF」と表示される。**
箱取運転中は、「dF」表示となります。故障ではありませんので、30分程度お待ちください。庫内温度が表示されます。
「F」「H」「L」「E」と表示される。
温度センサの故障です。「H」「L」：庫内温度用センサ異常 / 「E」：箱取用センサ異常
【処置】 アフターサービスをお申しつけください。
「dF」と「E」が交互に表示され運転が再開しない。
箱取運転が正常に終了できておりません。【処置】 アフターサービスをお申しつけください。

10 保証とアフターサービス

- 保証書(別添付)
●保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお取り取りください。内容をよくお読みのこと、大切に保存してください。
- 保証期間
お買上げ日から1年間(冷却ユニットは5年間)です
- 補修用性能部品の保有期間
●当社は、この保冷庫/冷却ユニットの補修用性能部品の製品製造日切り後9年保有しています。
●補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ご不明な点や修理に関するご相談は
●お買上げの販売店か右記の「三菱電機冷熱応用システム ご相談窓口・修理窓口」にご相談ください。
- 修理を依頼されるときは
●「故障かな?と思ったら」取扱説明書にしたがってお調べください。
●なお、不具合があるときは、電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。
- 保証期間中は修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、販売店が修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。点検・診断のみでも有料となる場合があります。
- 修理料金は技術料+部品代(十出張料)などで構成されています。
- ご連絡いただきたい内容
- 形名 ○○○○○○
 - 製造番号 ○○○○○○○○ (8桁)
 - お買上げ日 年 月 日
 - 故障の状況 (できるだけ具体的に)
 - ご住所 (付近の印印なども)
 - お名前・電話番号・訪問希望日

9 大切なお知らせ

①無償保証期間および範囲
据付けた当日を含め1年間(冷却ユニットは5年間)としますが、無償にて支給するのは故障した部品または当社が交換を認めた冷却クーリングユニットに限ります。ただし、2項に記載する使用方法による故障については保証期間中であっても有償となります。

②保証できない範囲
(1) 下表中に指定した範囲外で使用したことによる事故の場合

	AFH-Q3RG-DC17	AFH-Q3A-DC17
周囲温度(放熱器周辺空室温度)	0～+40℃	0～+40℃
庫内温度	0～+15℃	0～+15℃
電源・電圧	単相100V 50/60Hz 運転中の電圧90～110V 始動時の最低電圧95V以上	三相200V 50/60Hz 運転中の電圧180～220V 始動時の最低電圧170V以上

※組合せの保冷庫によっては、最低庫内温度まで、温度が下らない場合があります。

(2) この説明書に記載の内容を守らずに故障に至ったと判断される場合
●機種選定に不具合がある場合
冷却負荷に対し、明らかに過大または過小の能力を持つ冷却クーリングユニットを選定し、故障に至ったと当社が判断した場合

(4) 当社の出荷品を据付けにあたって改造した場合
(5) 運転、調整、保守が不備などによる事故の場合
●塩害
●据付場所不備による事故(風量不足、化学薬品、湿気環境、腐食性ガスなどの特殊環境条件)
●屋外設置

(6) 天災・火災による事故
(7) 据付工事に不具合がある場合
●据付工事の取扱不良のため、損傷、破損した場合(※ただし、当社指定据付業者を除く)
●当社関係者が工事に上の不備を指摘したにもかかわらず、改善されなかった場合
●明かか冷却クーリングユニットが傾斜して設置された場合

(8) その他、冷却クーリングユニット据付、運転、調整、保守上常識となっている内容を逸脱した工事および使用方法での事故は、一切保証できません。
また、冷却クーリングユニット事故に起因した、冷却物・営業補償などの二次補償はいたしませんので、当社代理店などとご相談の上、損害保険で対処してください。
○自動車、鉄道、車両、船舶等に搭載した場合

◆ご連絡の場合、次の3点を必ずお示しください。
1. 形名(例:AFH-Q3A-DC17)
2. 製造番号(定格各板に記載してあります)
3. 故障内容(できるだけ詳しくお知らせください。)

ご相談窓口・修理窓口のご案内

取扱い・修理のご相談は、まず
お買上げの販売店・施工者・設備業者へ

●お買上げの販売店にご依頼できない場合
(転居や贈答品などは、**各窓口**へお問い合わせください。)

■お問合せ窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて
三菱電機冷熱の閉システム株式会社は、お客様から提供いただきました個人情報、下記のとおり、お取り扱いします。
1. お問合せ(ご依頼)いただいた修理・保守・工事および製品の故障の取扱いに際しましてお客様よりご提供いただいた個人情報は、本目的ならびに製品品質・サービス品質の改善・製品情報のお知らせに利用します。
2. 上記利用目的のため、お問合せ(ご依頼)内容の記録を残すことがあります。
3. あらかじめお客様からご了解をいただいている場合および下記の場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
① 上記利用目的のために、弊社グループ会社協力会社など業務委託する場合。
② 法令等の定める規定に基づく場合。
4. 個人情報に関するご相談は、お問合せをいただきました窓口にご連絡ください。

【受付時間】 平日(月～金) 9:00～17:00

製造元 三菱電機冷熱応用システム株式会社

●保冷庫の技術・取扱い方法
品質管理課 **073-436-6455**

修理窓口 修理の問合せ・修理の依頼 受付時間365日24時間

●三菱電機修理受付センター

フリーダイヤル **0120-56-8634** (無料)
インターネット **www.melco.jp**

携帯電話・PHS・IP電話の場合	
日本修理受付センター FAX 0120-49-8634	(03) 3424-1111 (有料)
(06) 6454-3901 (有料)	

※所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。